

# 2021年 12月期 決算説明資料

2022年2月17日

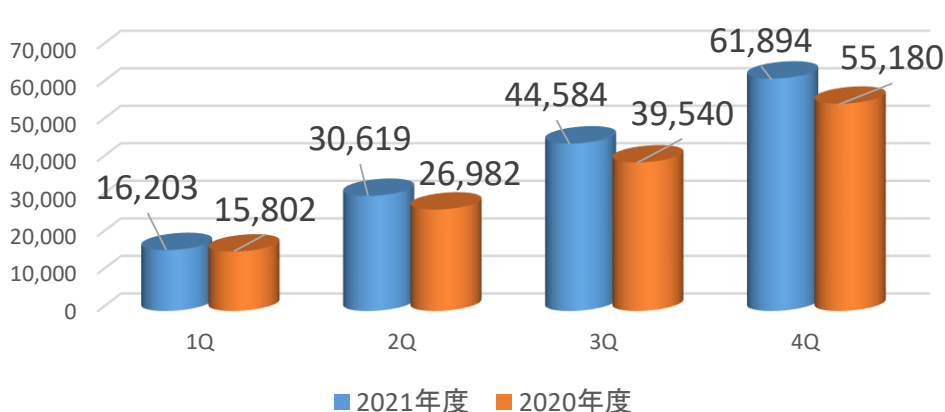
 **三菱鉛筆株式会社**

# 【連結】2021年12月期決算 概略

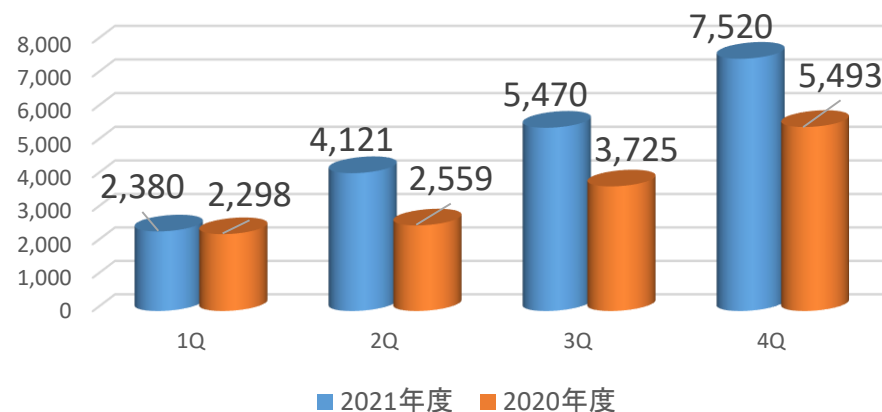
【連結】 単位：百万円	2021年	2020年	対2020年		2019年	対2019年	
	1-12月	1-12月	増減額	増減率(%)	1-12月	増減額	増減率(%)
売上高	61,894	55,180	6,714	(12.2%)	62,034	▲140	▲(0.2%)
(USD平均レート)	¥109.86	¥106.66	¥3.20	-	¥109.37	¥0.49	-
営業利益	7,520	5,493	2,027	(36.9%)	7,202	318	(4.4%)
経常利益	8,309	5,988	2,321	(38.8%)	7,580	729	(9.6%)
当期純利益※	5,658	3,794	1,864	(49.1%)	4,436	1,222	(27.5%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

売上高(累計)

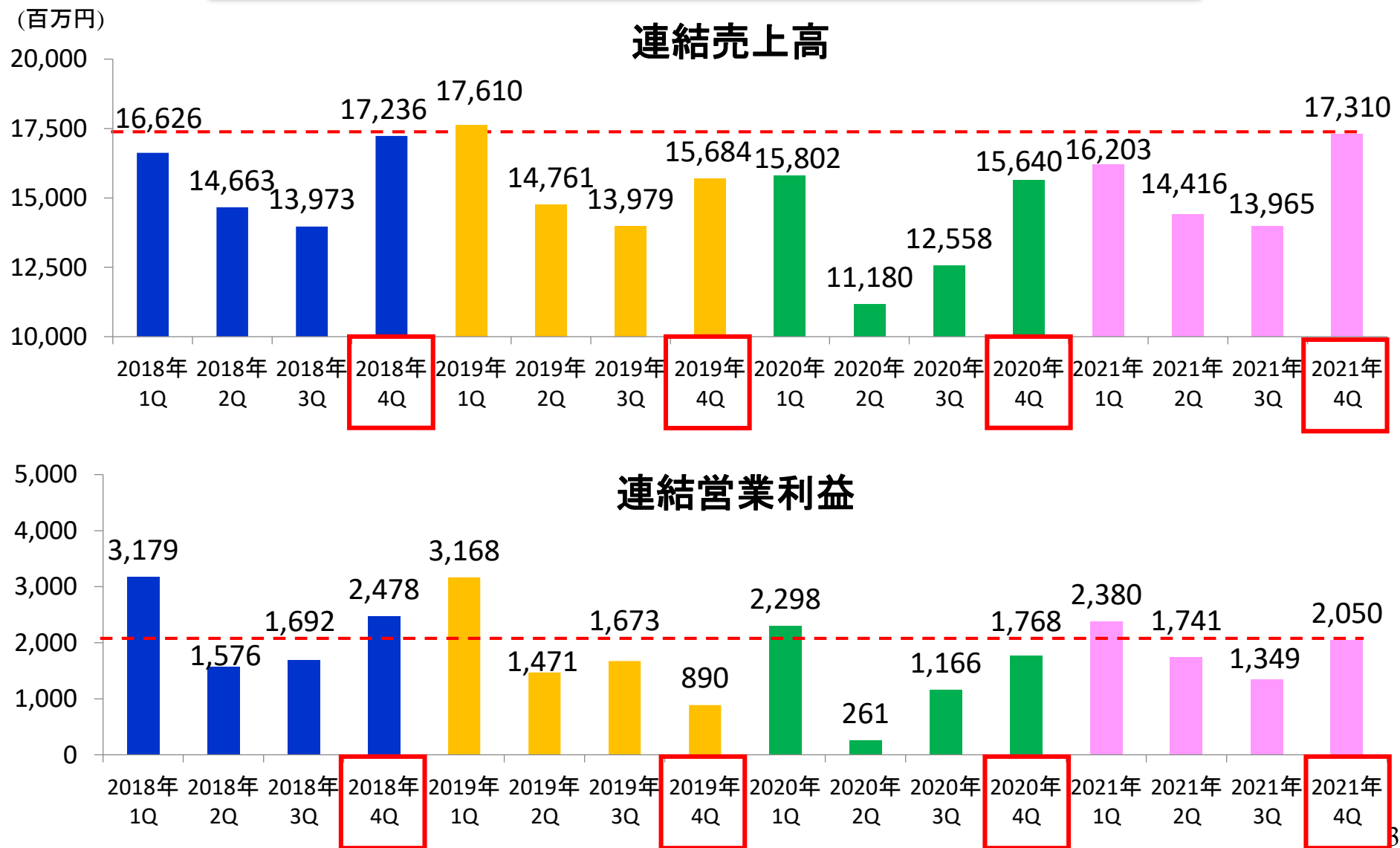


営業利益(累計)



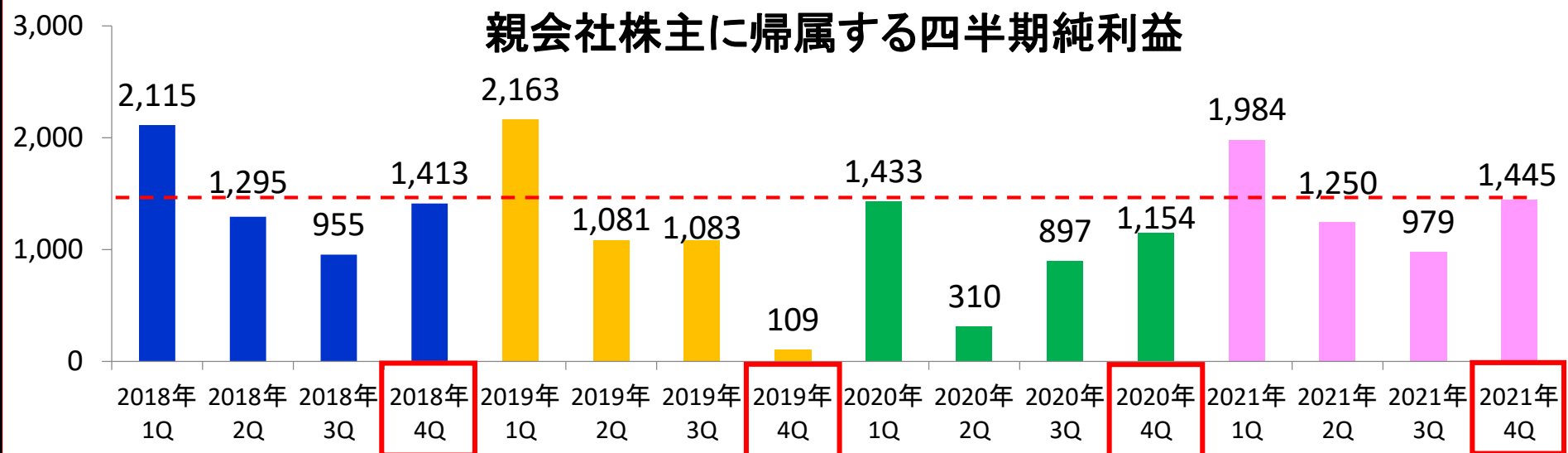
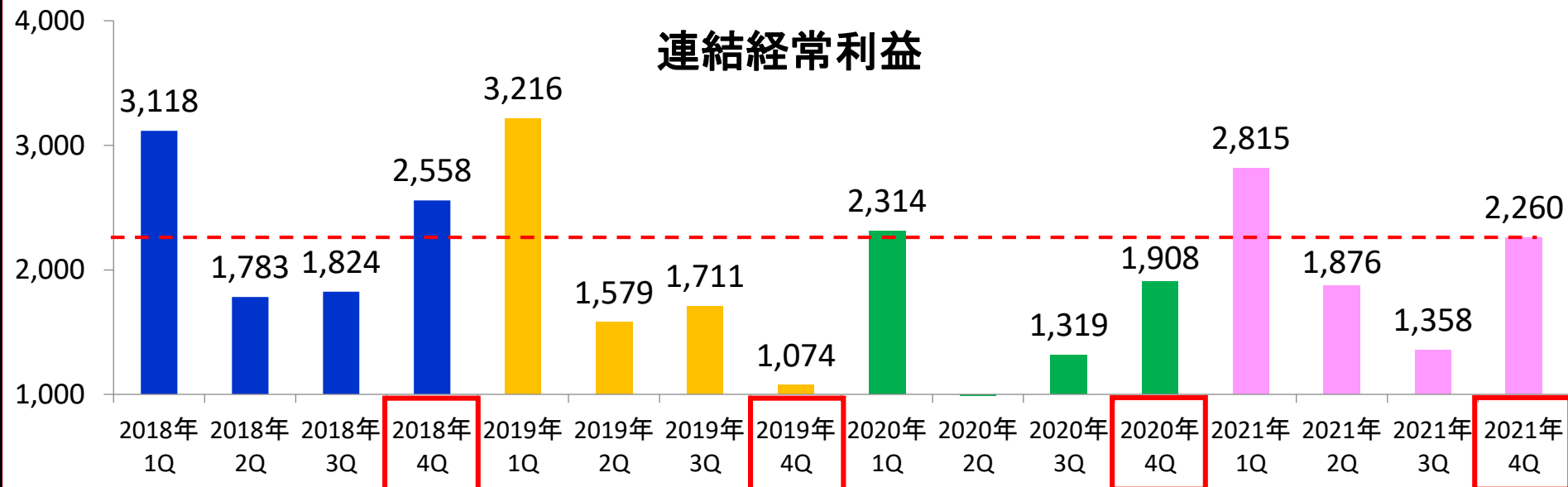
- ・売上高は海外市場での需要の回復によりコロナ以前にまで持ち直し
- ・営業利益は販管費率の改善に伴い大幅に増加
- ・経常利益は為替差益により上振れ

## 売上高・営業利益ともコロナ前の四半期推移へ



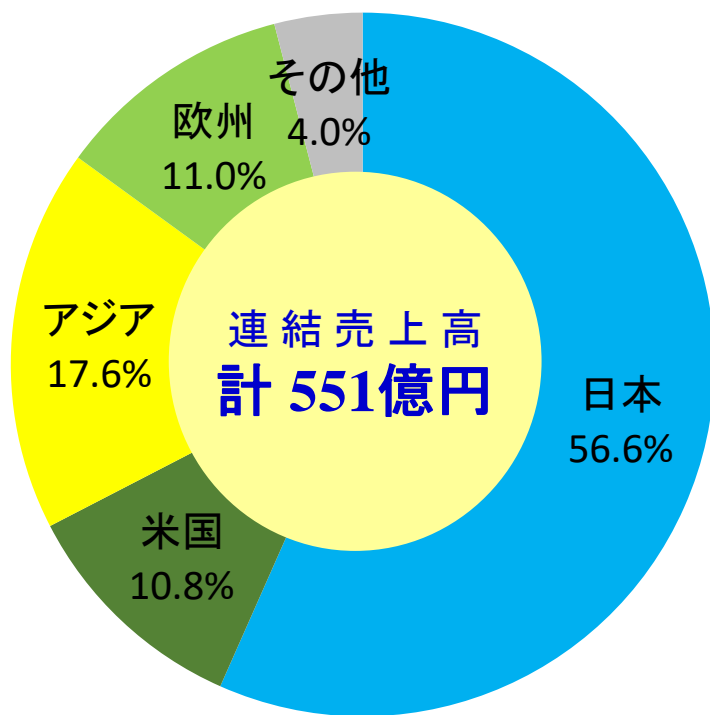
# 連結業績 四半期推移(經常利益／四半期純利益)

(百万円)



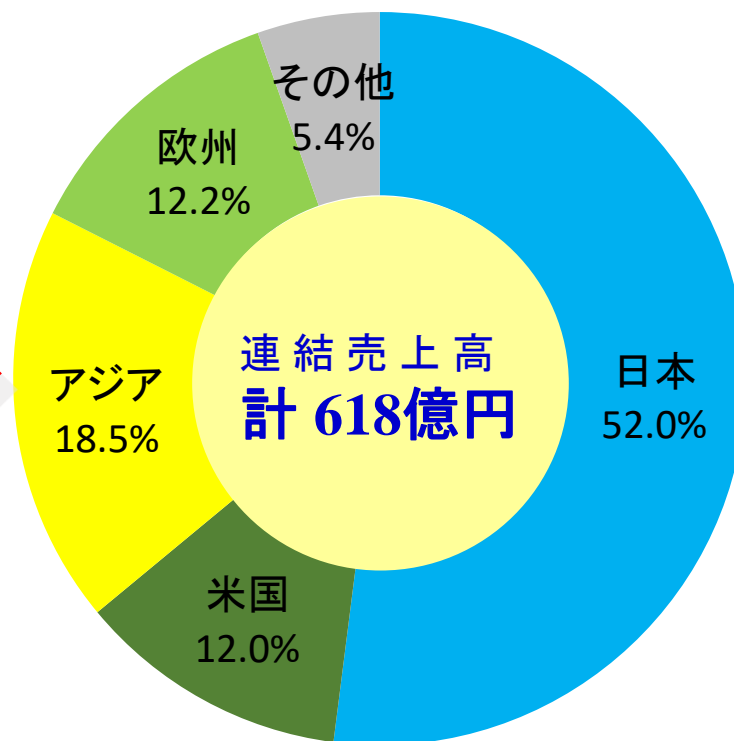
売上構成比では海外の比重が大きく高まる

2020年 1-12月



国内:海外  
56.6:43.4

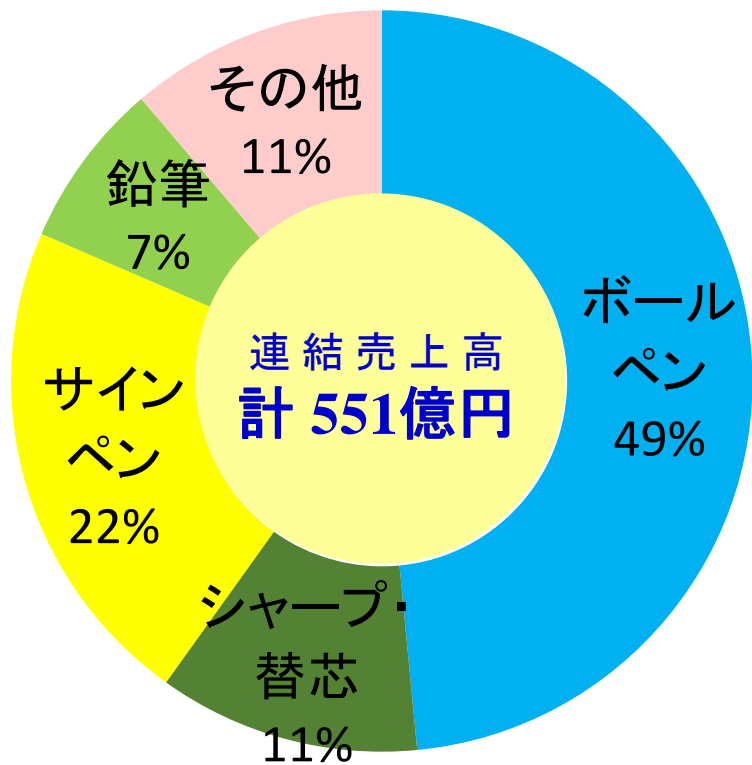
2021年 1-12月



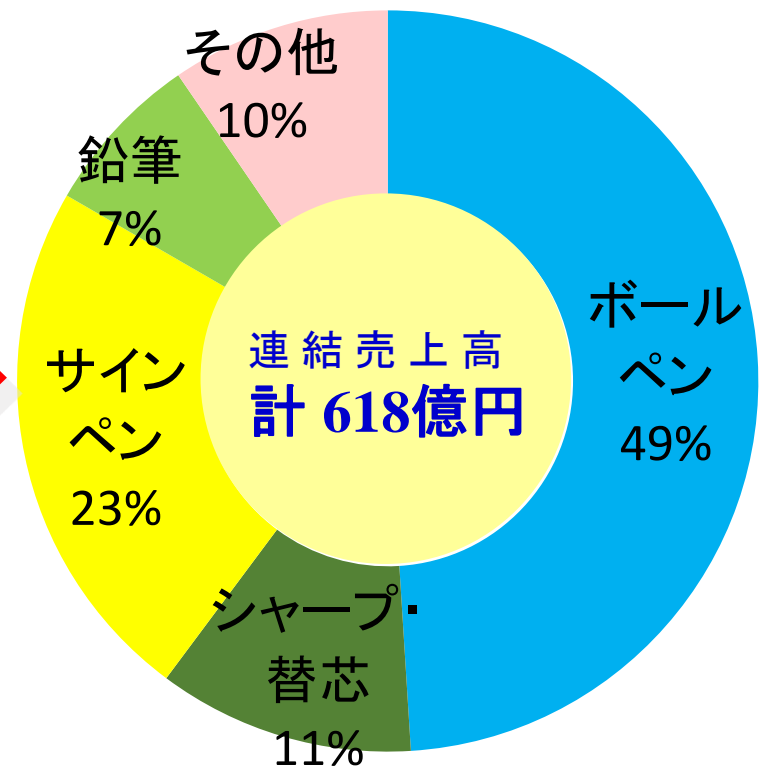
国内:海外  
52.0:48.0

筆記具全ての品種で売上高が拡大

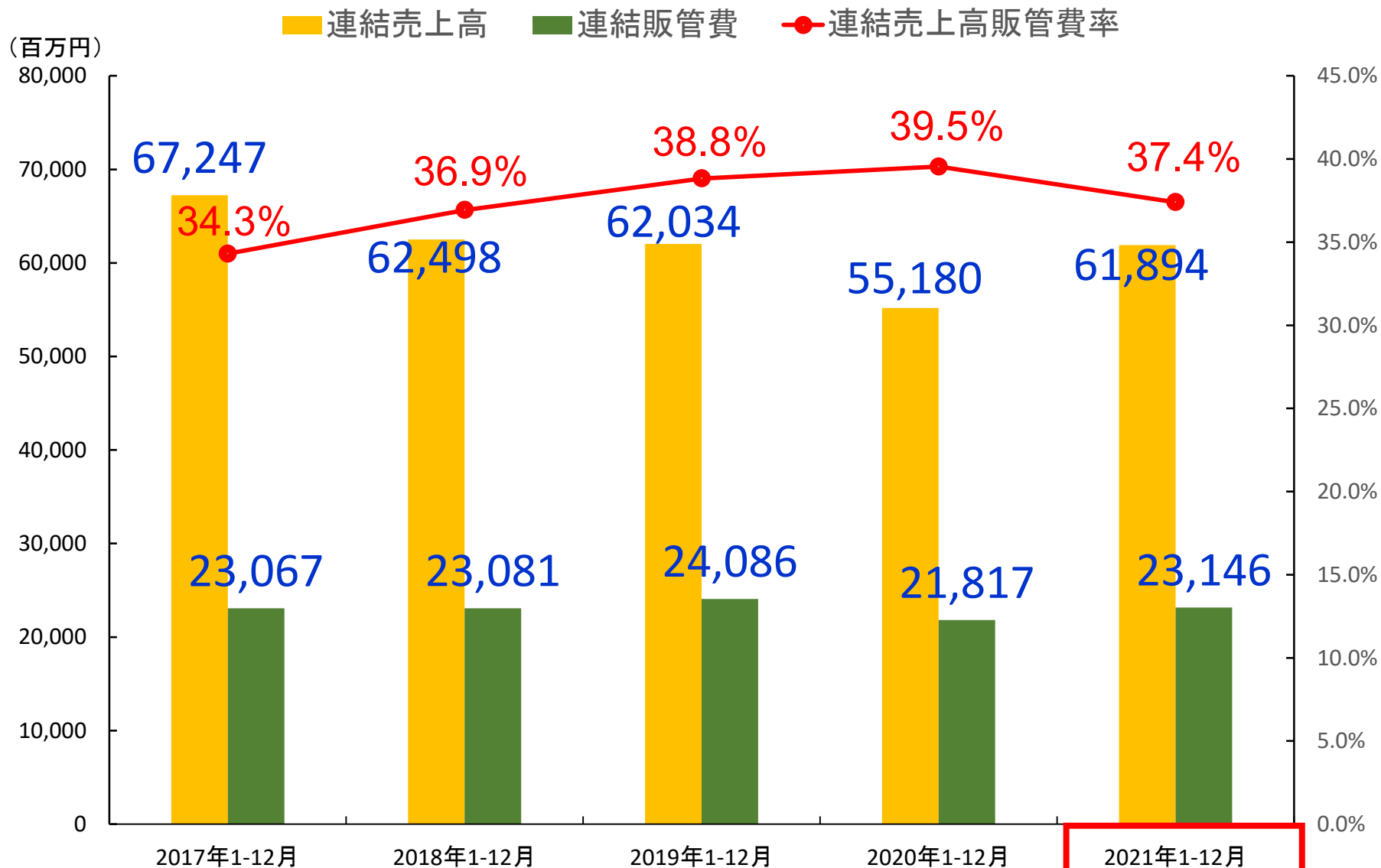
2020年 1-12月



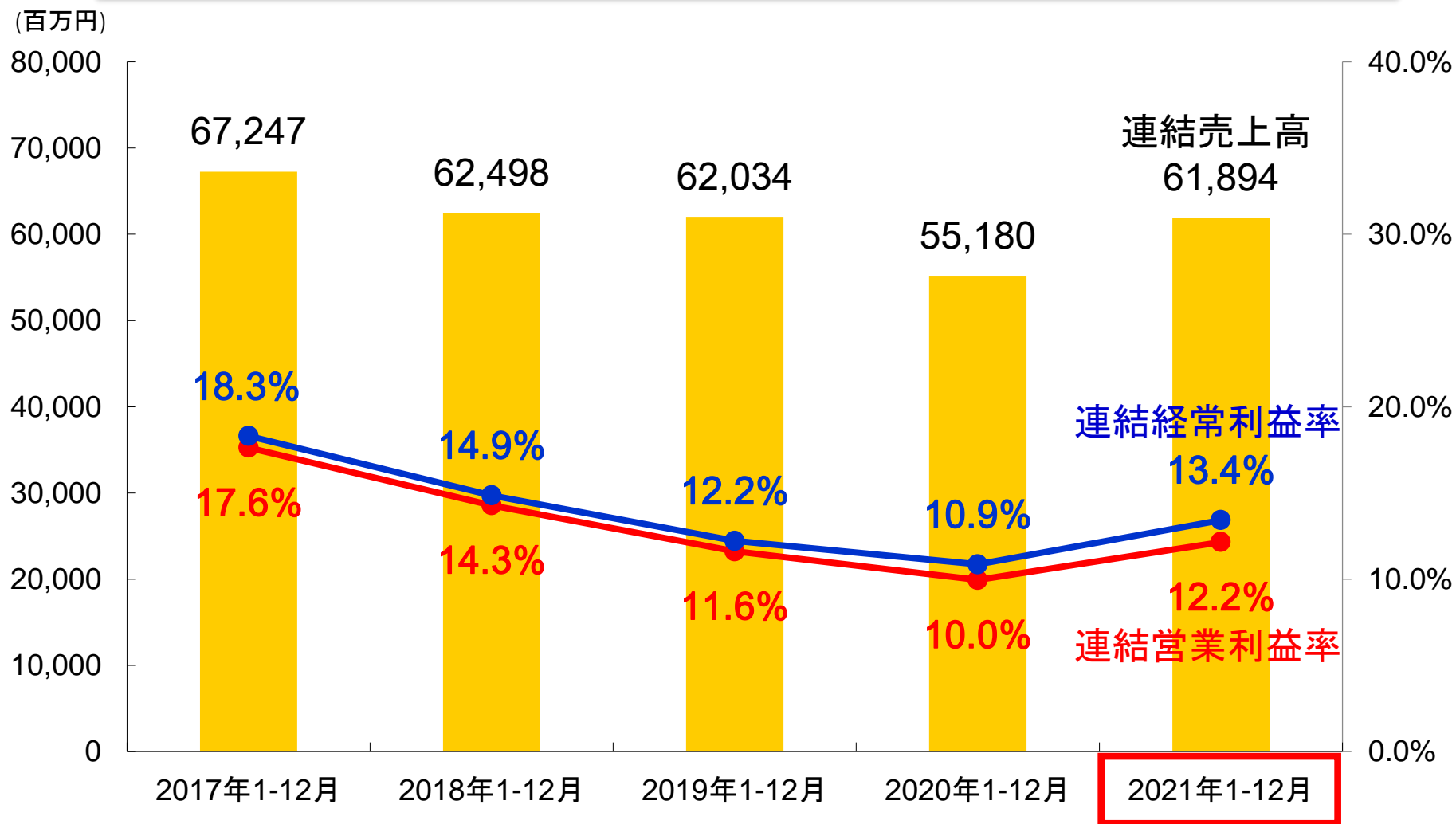
2021年 1-12月



世界的な物流費高騰のなか、費用の効率化を推し進め、販管費率を低減

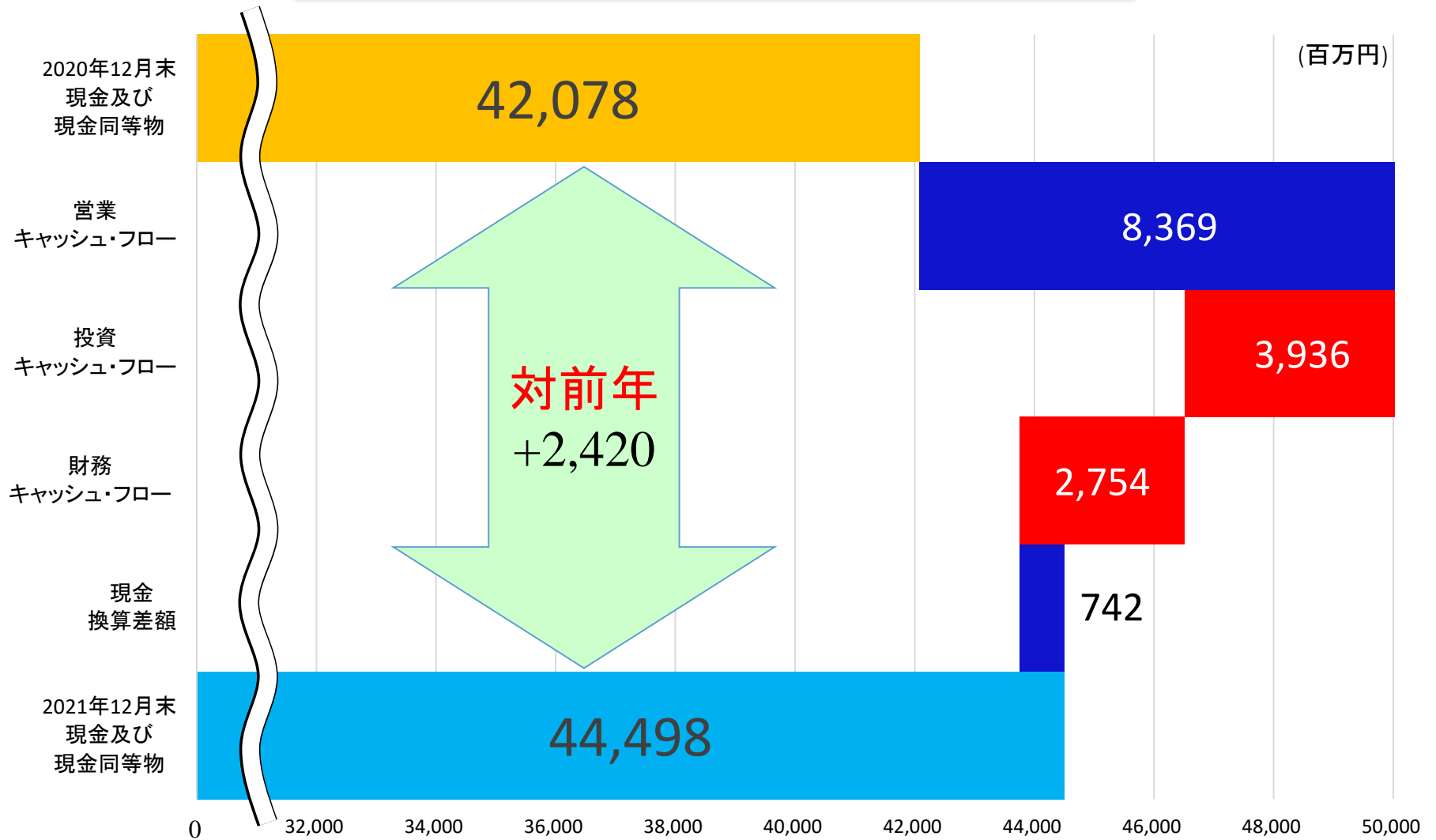


営業利益率・経常利益率ともに順調にコロナ以前へ回復

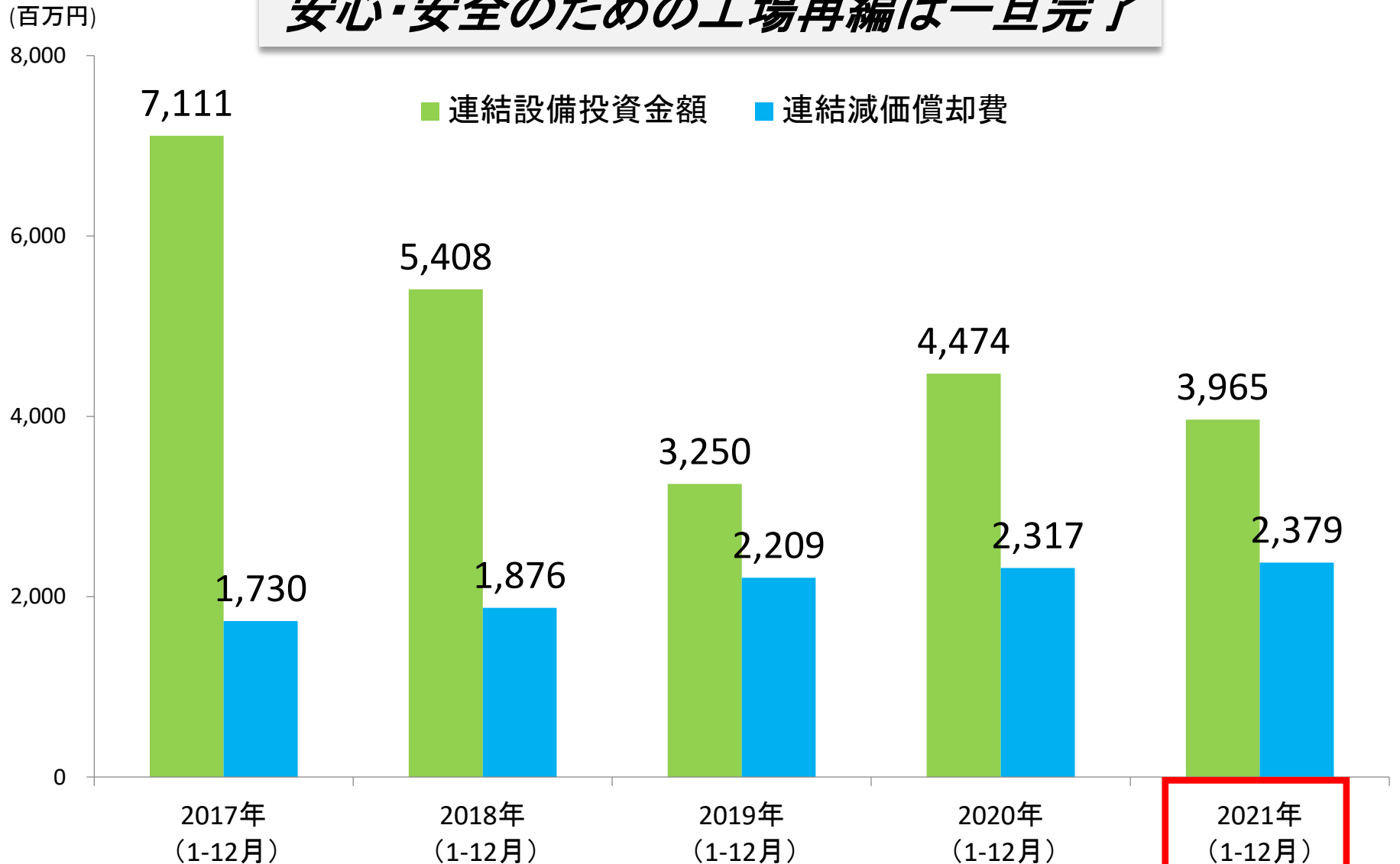




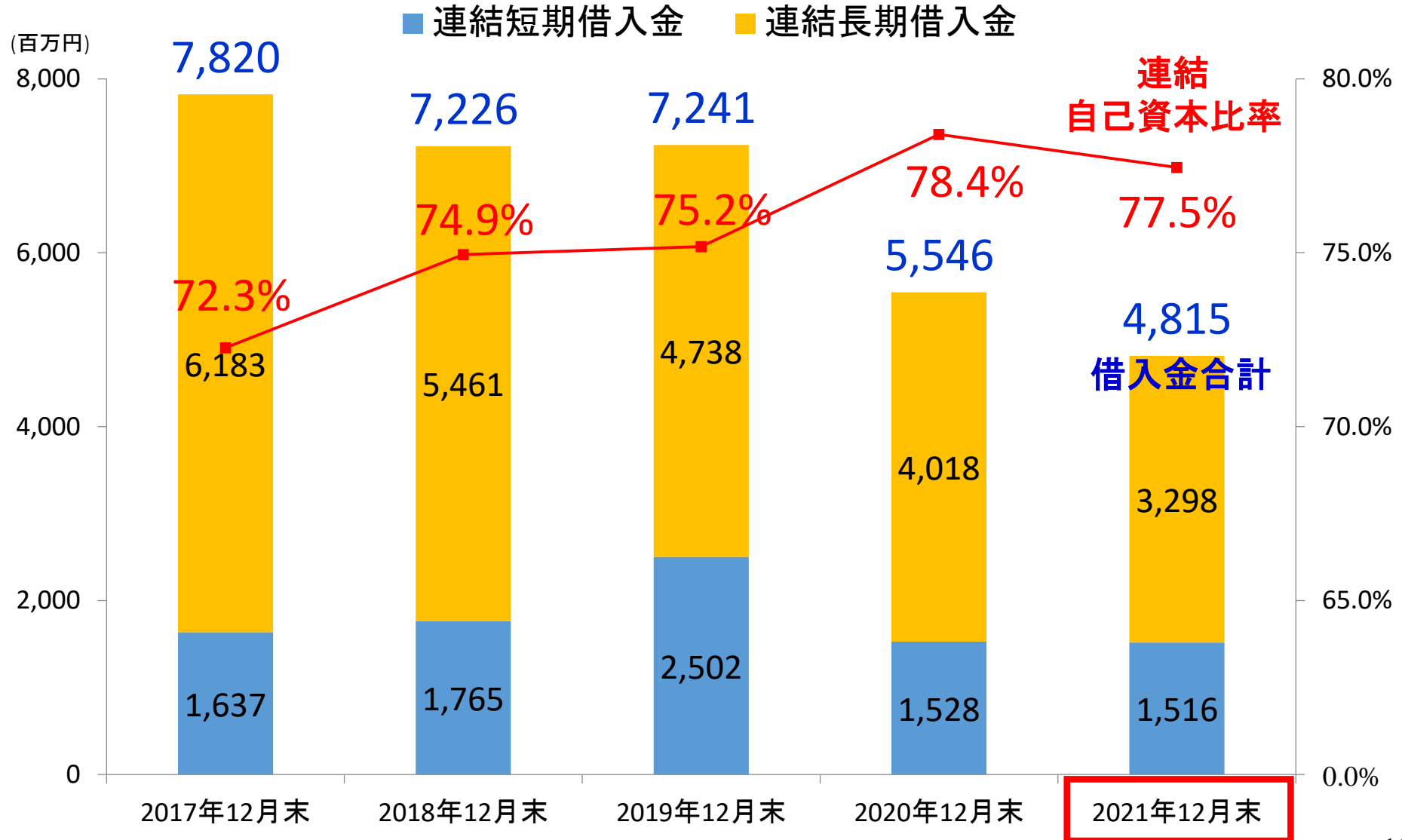
## キャッシュ・フローはバランスよく配分



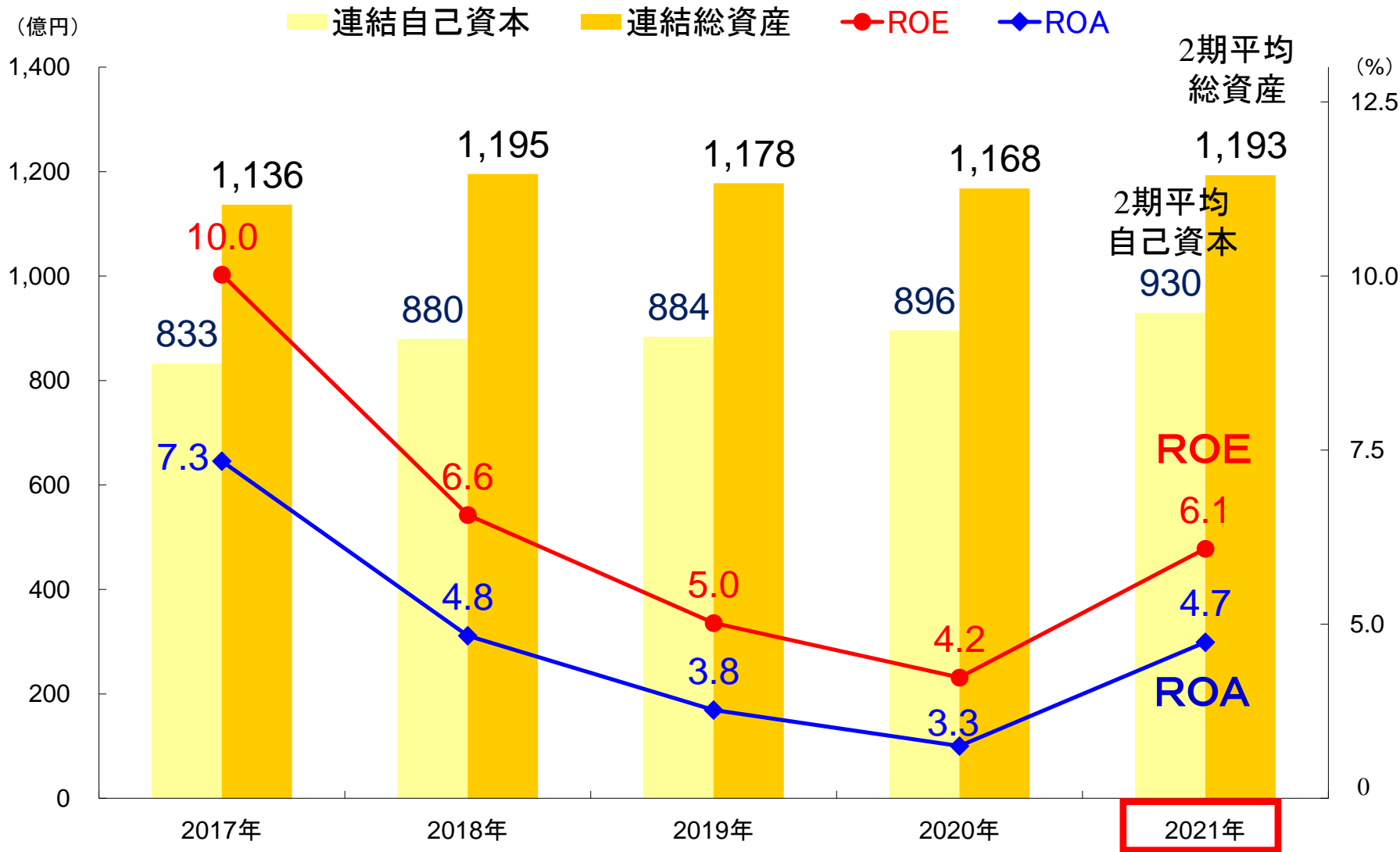
安心・安全のための工場再編は一旦完了



## 自己資本比率は高い水準を維持



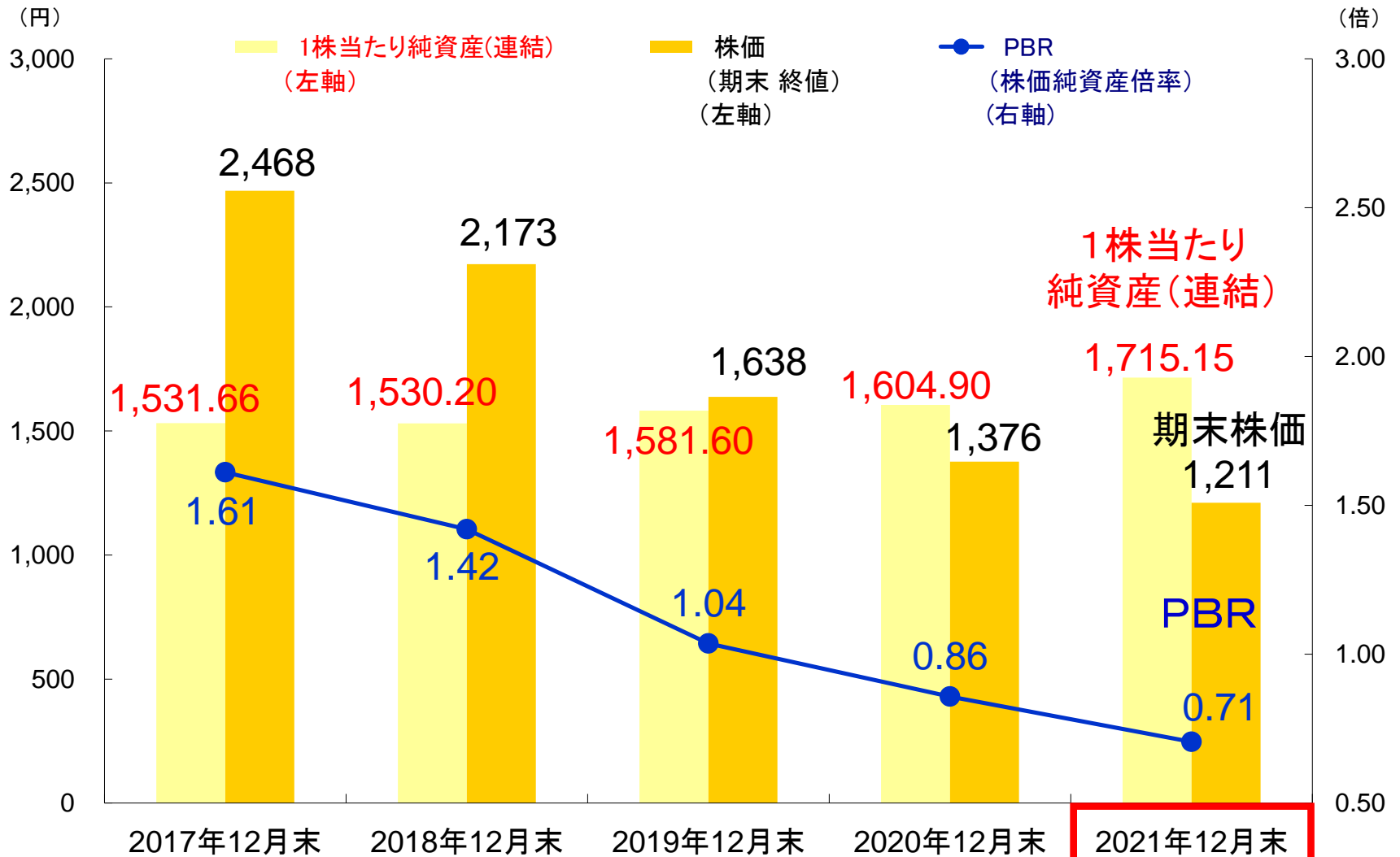
## ROE/ROAともに回復基調



(※) ROE = 連結純利益 ÷ 2期平均自己資本

(※) ROA = 連結純利益 ÷ 2期平均総資産

## 1株当たり純資産は上昇もPBRは下降傾向



(※) 2017年7月の株式分割に対応し遡及修正しています

(※) PBR(株価純資産倍率) = 期末株価 ÷ 連結1株当たり純資産

# 2022年12月期連結業績予想

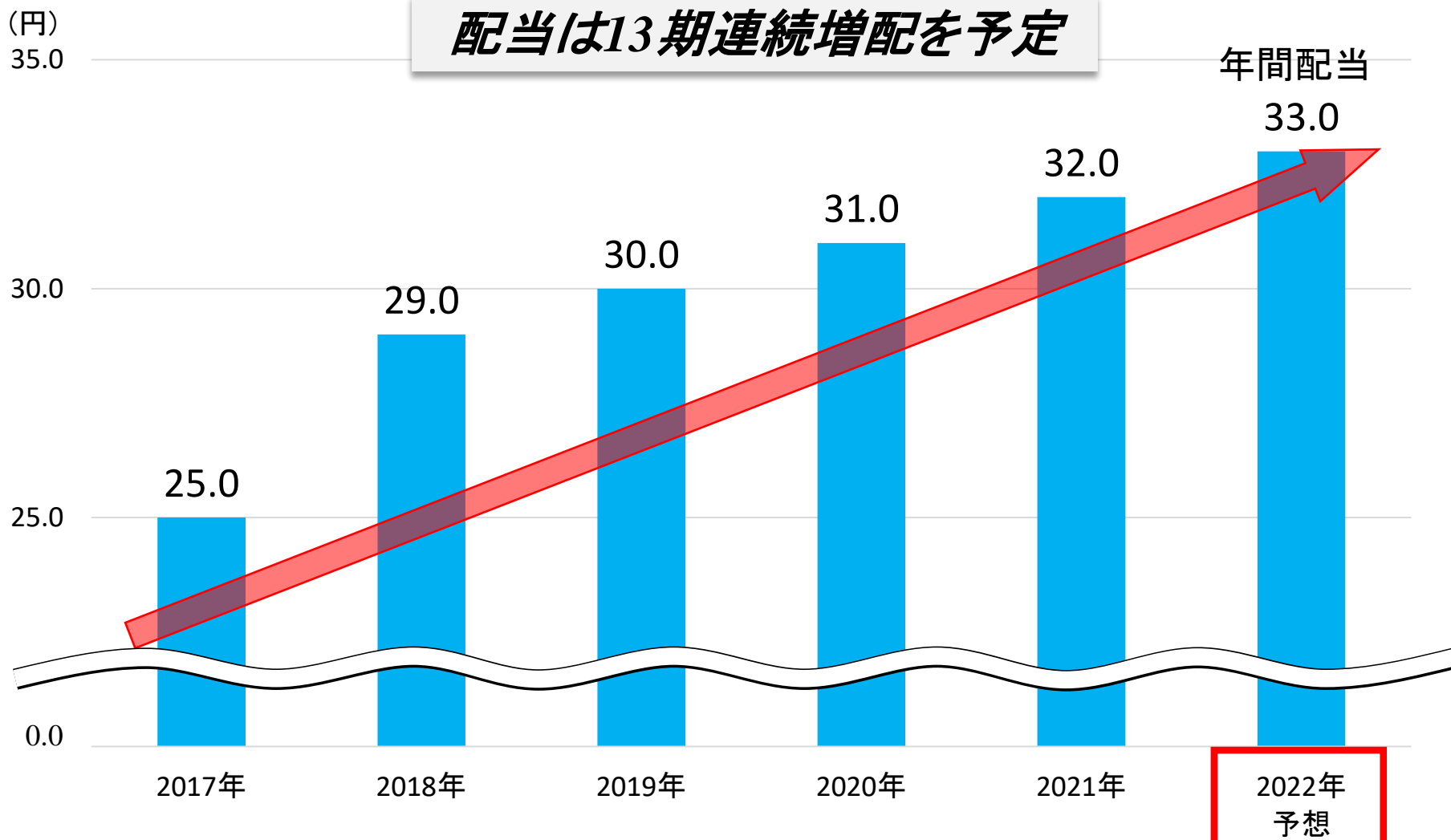
2022年12月期は増収増益を見込む。配当も1円の増配を予定。

☑想定為替レートUSD=107円

【連結】 単位：百万円	2021年業績	2022年業績予想	対前期増減率(%)
売上高	61,894	64,000	3.4
営業利益	7,520	8,320	10.6
経常利益	8,309	8,700	4.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,658	5,900	4.3
配当（年間）	32.00	33.00	
配当（中間）	16.00	16.50	
配当（期末）	16.00	16.50	

2022年2月17日  
公表

**配当は13期連続増配を予定**



連結1株当たり当期純利益(円)

144.73	100.31	77.84	67.57	100.96	105.54
--------	--------	-------	-------	--------	--------

違いが、美しい。

**uni**  
MITSUBISHI PENCIL

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想となります。  
従って、潜在的なリスクや不確実性が含まれており、実際の業績はさまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。